

議会報告会

まちづくり車座トークを開催

初の女性団体と報告会

議会報告会の第1回目は、平成23年に試行として文京区で実施した。それを皮切りに、平成24年には議員全員で全行政区を回り、平成25年には2班に分かれ全行政区を、そして4年目の今年は新たに各種団体を対象に加え、より幅広い声の収集に向けて動き出した。

6月10日、その最初の団体として女性団体との報告会を「まちづくり車座トーク」と銘打って開催した。



グループに分れての意見交換会

今回は、以前までの報告会とは違った形式で、集まった33名を5つにグループ分けをして、その中に議員が2名ずつ加わり1グループ当たり8、9名の車座という形で意見交換を行った。

参加団体は6つの行政区別女性の会と5つの子ども育成会、年齢構成は30代から70代であり、お互い自由な意見を出し合うブレインストーミング方式により進行を行い沢山の意見や疑問点が出された。

昨年11月に町の人口が7000人を切ったことを受け、「人口減少を抑制するための方策は？」というメインテーマに沿って話し合いを進めた。主な意見を紹介すると、新十津川町の美しい自然環境、美味しい特産品や水、充実した子育て支援制度など本町が誇れる点について各種メディアを使って町外にPRしていく、新規の就農制度などを考え若い世代を呼び込む施策

を考える、地元若者の働く場所がないので就労場所を増やす、農家の花嫁問題解決に對して真剣に取り組む、出生時のお祝い等の内容を充実させる、等々。また他にも日々の住民生活における問題点や疑問点なども多く出された。



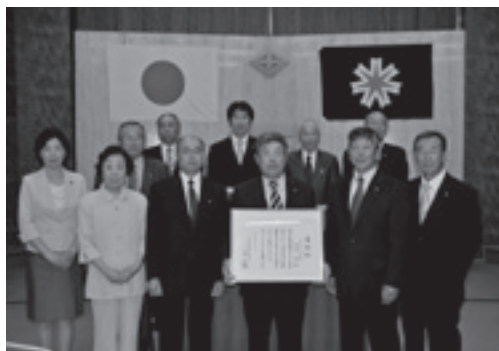
和やかな雰囲気意見が飛び交う

今回の報告会はグループ分けという形式で行った事により、参加者と我々議員がお互い身近な感覚で情報交換が出来、予想を上回る数多くの声が聴けた。

今後は、この様々な意見をひとつでも多く町政に反映できるよう議員全員、議会活動に取り組んで行かなくてはならない。

長名議員 道町村議会議長会 より表彰

平成26年6月5日、北海道町村議会議長会総会で議員表彰が行われた。本町では15年以上議員として活動された長名議員が表彰され、6月11日の本会議前に長谷川議長から表彰状が伝達された。



編集後記

早いもので今年も半年が過ぎ心地の良い夏を迎える時期になった。6月定例会は新年度行政執行におけるそれぞれの施策について順調にスタートした内容であった。今後、満足度の高いものとなるように期待したい。

議会活動も報告会が始まり、今年から地区報告会に加え新たに諸団体と意見交換会を行うこととなった。まず「女性団体」と行い、多くの意見が出ていいスタートを切ることができた。

成功に結び付けるためには、個人の知識ポリューム・即決判断・政策イメージ醸成など質的変換を図ることが大切であり、広く情報を収集することが大切な要素となってくる。いかにそのことを咀嚼し、現実として求められていることに対して判断することができかが鍵ではないか。

【議会広報特別委員会】

委員長 青田 良一
副委員長 山田 秀明
委員 笹木 正文
安中 経人
西内 陽美